

中播磨
生活創造
しんぶん

Wa'Wa'Wa

Vol.109

令和6年3月号

目次 | P2~3 ぶら〜り町歩き「光洋製瓦株式会社」 / P3 中播磨県民センターからのお知らせ / P4 消費生活情報



09.11.26 乾の小天守から天守うらを 高野 雅

世界遺産登録記念の特別公開で「乾」の小天守に登り東の空から天守閣北側を初めて見ました。あまり広くない中庭の四方から屋根が突き合うように迫り出しその屋根瓦を守る白漆喰の美しさに一瞬の感動を味わいました。その昔は、この狭い空間で大勢のお仕え人が働いておられたのだなーと、想像しながらの時を過ごしました。(生活創造応援隊 高野 雅一)

ぶら〜り町歩き

伝統工芸品、歴史的建造物、おすすめのスポットなど…中播磨地域に住む記者が「行ってみたい」と思う、こんなところをご紹介します！

取材先：光洋製瓦株式会社 【姫路市船津町】

**伝統製法で一つ一つ丁寧に仕上げられる瓦。
その技術は、昭和・平成の姫路城大修理でも
生かされています。**

今回は、光洋製瓦株式会社にお伺いしました。

雪の降る大変寒い日でありましたが、光洋製瓦株式会社の娘さんが、私たちを気持ちよく迎えて下さいました。市川の清流と豊かな自然に恵まれた船津町にあり、創業1920年で日本伝統のいぶし瓦を守り続けておられる窯元です。一つ一つ職人さんが丁寧に仕上げている昔ながらの製法を守り続けており、強度と美しさにおいて全国でも他に例をみない程の逸品として評価されつづけてこられたそうです。この瓦と卓越した技術をもって、昭和・平成に行われた姫路城の大修理に関わり、しゃちほこも手掛けられました。その他、龍野城・出石城・大塩天満宮など、数多くの重要文化財にもたずさわられ、復元製作を行われています。

この瓦の製作手順をパワーポイントで詳しく説明していただき、平成の姫路城修理の様子も映像で見せていただきました。職人さんたちも大変な苦勞をされたそうです。今まで知らないことばかりでした。説明のあと、工場内を案内していただきました。工場内ではそれぞれが黙々と仕事をされていて、一つ一つ手作業でされているのがうかがえました。特に、姫路城マラソンの参加賞として渡されている品物の瓦のしゃちほこは、粘土を一つ一つ型に入れて作っておられるのを見て、機械で製成されていると思っていたので感動しました。そのほかにも、屋根瓦だけでなくカベやドアの取手などパーツを組み合わせインテリアとしても利用され、時代に応じた作品を手がけておられるのも素晴らしいと思いました。また、一般の方たちにいぶし瓦を知ってもらいたい!!と工場見学や工作体験、瓦作品クラフトづくりをする場の提供もされています。修学旅行をかねてバスで訪れる学校もあるそうです。

次に、工場の隣にある古民家を案内していただきました。

私たちは思わず「ワー!!」と歓声をあげました。いぶし瓦の屋根の上には立派なしゃちほこがたくさん！前に住んでおられたのをゲストハウスとして“薫(くん)銀(ぎん)別邸(べってい)”と名づけて活用されているそうです。

先代が建てられた瓦屋根の技を尽くした瓦の別邸です。伝統的な日本家屋で過ごす機会が少なくなったことから、滞在型宿泊施設として改装されました。滞在だけでなく、土にふれる瓦づくりの体験もできるそうです。また、春には工場の一部を喫茶としてオープンする予定とか！ゆったり、ほっこりしたひとときを過ごすことができるだろうな〜。細やかに私たちに説明していただきました光洋製瓦(株)の皆様ありがとうございました。



古民家ゲストハウス 薫銀別邸



鬼師さん(右端)の姫路城マラソン参加賞の製作の様子

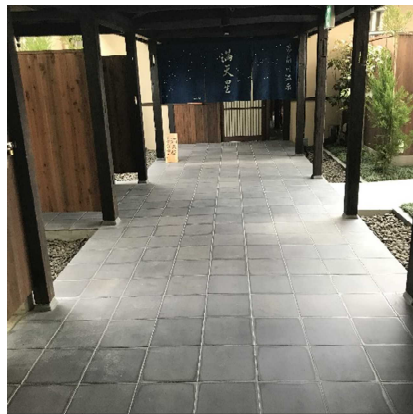


瓦の製作工程などの説明の様子



案内いただいた笹田取締役(左から3人目)と

光洋製瓦株式会社さんの瓦を使用されているお店を紹介します！



里湯ひととき 夢乃井

里山ののどかな風景と星空を楽しむ大浴場「満天星」の入口床や露天風呂の壁面、湯上がりどころのテーブルに瓦が使用されています。



セトレハイランドヴィラ姫路 (レストラン：DINING ROOM ON THE HARIMA)

正方形の小さな瓦のピースを大小組み合わせ合わせたプレート「ARARE」をアレンジしたオリジナル食器を使ってお食事を提供されています。

中播磨県民センターからのお知らせ

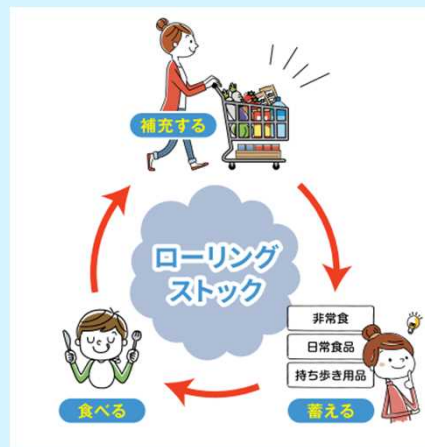
「備える・使う・買い足す（ローリングストック）」ははじめませんか？

南海トラフ地震の発生が心配される一方、先日の能登半島地震もありましたが、風水害も頻発化・激甚化しています。災害発生からライフライン復旧までは、1週間以上を要するケースが多く見られます。また、災害支援物資が3日以上到着しないことや、物流機能の停止によって、1週間はスーパーやコンビニなどで食品が手に入らないことも想定されます。そのため、最低でも3日間、できれば1週間分×人数分、家庭での食料備蓄が望ましいです。

「長期保存食や災害食は高価で買にくい」

「家に食料を置いておくスペースがない」

このように備蓄を難しく感じている方も、普段から食べているもの・使っているものを少し多めに買って置く、ローリングストックで備えることができます。もしもの備えに、ローリングストックで気軽に備蓄をはじめてみませんか？



出典：農林水産省「災害時に備えた食品ストックガイド」

R6中播磨地域づくり活動応援事業のご案内

あなたの「地域の課題解決や地域の活性化のために行う取組」を応援します！

▶募集事業

<一般枠> 地域の人が地域外の人と交流を行う取組や地域の魅力・文化を青少年等の次代に伝える取組

<特別枠>

- ① 銀の馬車道魅力UP事業（銀馬車枠）：日本遺産に認定された「銀の馬車道」を題材とした取組
- ② 環境配慮推進事業（環境配慮枠）：地球温暖化に対する省エネ活動、緑化・自然保護活動の取組
- ③ 子育て応援事業（子育て枠）：子育てに関する交流など子育て家庭を応援する取組
- ④ 万博推進事業（万博推進枠）：大阪・関西万博に関向に関するイベントけた機運醸成やひょうごフィールドパビリオン、SDGsに関する取組
- ⑤ ウェルビーイング推進事業（ウェルビーイング枠）：誰一人取り残さない社会の実現に向けた外国人、障害者、高齢者等、誰もが安心して平等に暮らせる取組

▶対象団体

中播磨地域で活動している自治会、子ども会、まちづくり協議会、NPO等

▶補助金額

1団体あたり5～30万円

▶申込期間

令和6年4月3日（水）～4月24日（水）17時必着

▶問い合わせ先

兵庫県中播磨県民センター交流室県民課 〒670-0947 姫路市北条1-98
TEL:079-281-9197 FAX:079-281-3015

消費生活情報～くらしに役立つ情報をお届けします～

(1) オレオレ詐欺を初めとする特殊詐欺にご注意ください！

県内の令和5年中の特殊詐欺認知件数、被害額ともに前年より増加し、認知件数は過去10年で最多となっています。被害の多くは、自宅への1本の電話からです。被害に遭わないために、普段から定期的にご家族で連絡を取り合う、電話でお金のお話が出たときは必ず誰かに相談するなどしましょう。また、各市町が行っている自動録音電話機購入補助事業やNTT西日本のナンバーディスプレイ等の無償化サービスを活用しましょう。

※自動録音電話機購入補助に関するお問い合わせ：078-362-3225（兵庫県）
※NTT西日本の取組みに関するお問い合わせ：0120-931-965
※その他のご相談
【消費生活相談】消費者ホットライン 局番なし188(いやや)
*最寄りの消費生活相談窓口につながります。
【ホームページ】 <https://web.pref.hyogo.lg.jp/chk12/shohi/shohiseikatsu.html>



(2) 消費生活出前講座のご案内

インターネットを介した架空請求や悪質商法等による被害が後を絶ちません。中播磨県民センターでは、そんな消費生活トラブルについてお話しする講師を派遣しています。

- ▶**時間帯** 平日10:00～16:00（申込者の希望に対応します）
- ▶**費用** 無料です。会場は開催団体でご用意下さい。
- ▶**講師** 中播磨県民センター県民交流室県民課 消費者教育推進員

※詳細は、中播磨県民センター県民交流室県民課（下記連絡先）までお問い合わせください。

「消費生活創造活動グループ」へ登録しませんか？

様々な分野の生活創造活動を行っているグループの皆さんの活動・交流拠点として、情報交流コーナー（フリースペース）での簡単なミーティング利用や会議室の“無料”利用ができます。利用時間等の要件はありますが、希望される場合は、下記までお問い合わせください。



情報交流コーナー



会議室（A・Bの2部屋あります）

しんぶんを通して、人のWa'・平和のWa'・話のWa'など限りないWa'に出会いたい...そんなWa'を伝えていきます。
（生活創造応援隊 一同）